

住人十色

第173回



◎「本好きの集まり。会員同士のおしゃべりも、いい刺激になる」というメンバーの皆さん

絵本を通して深める、学びと交流 読み聞かせボランティアが節目の20周年

おはなしむしこまどの皆さん

子どもたちに絵本の読み聞かせを行うボランティア団体「おはなしむしこまど」の定期総会が4月20日、図書館で開かれました。今年で設立20周年を迎えます。むしこまどは内子町図書館が開館した平成16年、同館主催の読み聞かせ事業を行うために集まった有志でスタート。現在の会員は21人で、月3回の読み聞かせで各自が選んだ本を紹介しています。「えいごの日」や「エコの日」など、会員の得意分野のテーマを設ける日も。会長を務める泉忍さんは「手遊びやクイズを取り入れるなど、メンバーによって工夫もいろいろ。毎回違う楽しみがある」と笑顔を見せます。設立当時から知る副会長の大野千代美さんは「本の隅々まで豊かに描く絵本作家の思いは、紙だからこそ伝えられる」と読み聞かせの魅力を語ります。活動について「子どもや保護者、本好きの会員など多くの出会いがある。子どもの成長を見られるのもうれしい」とほほ笑む大野さん。現在は高齢者サロンへも訪問するなど、活動の幅はさらに広がっています。最後に泉さんは「私たち大人にとっても学びの多い、ぜいたくな時間。今後も楽しみながら続けたい」と優しく答えました。

編集 幸記

▽広報コンクルの結果に、ただただ驚いています。同僚が担当した特集に大きな反響をいただき、うれしいです。自分はまだまだ力不足。まちな魅力をお届けできる広報紙を目指して頑張りますので、引き続きよろしくお願ひします(史)

▽「新年度は歩いて通勤するぞ」と言いながら、頑張れたのはたった1週間でした。雨だから、寝坊したから、と何かと理由を付けて車に乗っています。これからも安全と遅刻には気を付けて、目指せゴールド免許！(花)

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120(44)2130

